

産山学園便り

夢創造

▶「産山学園」の屋上看板が設置されました。「産山学園、ここにあり」ですね。



平成30年12月14日(金) no.25 文責：上田

第2回学校運営協議会 家庭とともに〇〇習慣の育成を

12日(水)午前、本年度2回目の学校運営協議会を行いました。前回1学期の第1回協議会の経営方針説明、先般実施された学校評価(保護者・教職員・児童)アンケート等の結果を踏まえ、参加いただいた協議会委員さんらと学校運営の進捗状況について協議しました。具体的には、読書活動、家庭学習、教科担任制など、義務教育学校9カ年の教育課程の中で今後も検討すべき事柄について意見が交わされました。PTA例会でも学校評価(保護者)アンケートの結果・考察をお伝えしたように、読書習慣、学習習慣等の子どもに身につけさせたい「習慣」は、決して学校だけで形づくられるものではなく、家庭の協力を欠かすことはできません。きっかけとして学校で指導したことも、家庭で習慣としてその意義を体験させることが必要だからです。家族の見守りが習慣づくりの第一歩であることは確かなことだと思います。ご理解ご協力をよろしくお願いします。(保護者アンケート・教職員アンケートについては、14日(金)のPTA例会資料を参照ください)

また、協議会の前半には前回同様に授業を参観していただきました。「英語指導では教室に3人の先生がいて充実していた」「(校舎改築で不便さがあるだろうが)掲示環境がとてもよかった」などの委員さんからの意見がありました。

年間3回の学校運営協議会ですが、学校と家庭・地域の協働活動の充実に向け検討いただくことはたいへんありがたく思います。委員の皆さんには今後ともよろしくお願いします。

2学期前半終わりまで1週間 平成最後の年に

12月も残すところ半月余りとなりました。数日前、その年の世相を漢字1字で表す「今年の漢字」が発表されました。全国から寄せられた20万票の中で2万票の応募があった『災』が選ばれました。北海道胆振東部地震、西日本豪雨などの自然災害があったことによるようですが、30年以内に発生がかなりの確率で予想されている南海地震などについての報道なども『災』が「今年の漢字」に選ばれた理由のように思います。

12月の学園生集会時に「今年は明治維新150年。戦後75年の年。来年5月には『平成』が新しい元号に変わる。社会に関心を向けることも大切だ」という話を子どもたちにしました。子どもたちが生き抜かなくてはならない未来、社会の一線で活躍する未来に向けて、子どもたちか『夢をはぐくむ』来年にすべく、私たち大人ががんばらなくてはならないことは確かなようです。

